

改 国民健康保険医療費適正化支援事業

国民健康保険課 167,451千円
【財源:国庫】

事業の目的

高齢化の進展等により1人当たり医療費の更なる増加が見込まれる中、医療費の適正化を推進するため、特定健診の実施率向上を図り生活習慣病の発症・重症化予防の取り組みを促進するとともに、市町村が課題に応じた保健事業を効果的、効率的に実施できるよう、支援・助言を行う。

事業の概要

(1) 事業内容

市町村国保の取組を支援するため、民間企業への委託等により次の事業を実施する。

	事業名	事業内容
①	①(新)特定健診実施率向上対策	特定健診未受診者に対し、未受診者の特性に合わせた受診勧奨を実施。
②	②データ活用人材育成事業	保健事業を企画、実施する人材育成のため、市町村向け研修を実施。
③	③糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防支援	糖尿病発症予防等の取組を推進するため、医師向け研修会及び県保健所単位での多職種勉強会を実施。
④	④結核・精神データ分析	国調整交付金算定支援のため、データ分析を実施。
⑤	⑤国保データベース(KDB)補助システム保守管理	R3年度に県が導入したKDB補助システムの保守管理を実施。
⑥	⑥適正服薬促進支援	重複服薬者等への通知発送、及び市町村向け研修等を実施。

(2) 成果指標

市町村国保の特定健診実施率 現状(R2年度) 35.9% → 42.0%(R7年度)

事業の期間

令和5年度～令和7年度